

令和7年度 指定管理業務評価票

公表

府立万博記念公園	指定管理者: 万博記念公園マネジメント・パートナーズ	指定期間: 平成30年10月1日～令和10年9月30日	所管課: 日本万国博覧会記念公園事務所
----------	----------------------------	-----------------------------	---------------------

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
I 提案の履行状況に関する項目							
No.1	(1)施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	【2025年度の管理運営方針】 来園者数はコロナ以前の2019年度を上回る、過去最高の270万人を本年度は見込む。 本公園を訪れる来園者の満足度を高め、かつ公園のブランディング強化を目的とした自主事業を中心とした経営に方向転換することで収支改善に務めるとともに、公園の価値に見合った料金改定についても、継続して大阪府と協議を進めたいと思います。 【実績】 ① 毎年恒例の桜祭りを「SAKURA EXPO」として(東大路を中心とした園内各所、3/20～4/6)実施した。 公園のブランディングの向上を図るため、質、量ともに BMP がコントロールした自主事業を実施した。 ライトアップに関して、桜の見ごろを逃さず多くの来園者の方に楽しんでいただけるようにライトアップ期間を事前に設定せずに開始期間をギリギリまで調整できるようにした。:3/28～4/8 日没～21:00 ② 5/29～6/1の期間にてポケモンGO FEST 2025を開催。期間中の来園者数は12.6万人となった。 ③ 7/12～13にてブルーインパルスの展示飛行があり1.6万人の来場があった。 ④ 7/19～20にてOSAKA GIGANTIC FESTIVAL、7/26～27にてSurvive FESと音楽フェスを開催し、5.6万人の来場があった。 ⑤ SUMMER SONIC 2025 が昨年に引き続き8月16日・17日に開催され、来園者数8.3万人となった。 ⑥ 9/6～3/1河森正治 創作展 ～万博・合体・変形・未来～ を開催。2025年大阪・関西万博のテーマ事業プロデューサーである河森氏の創作の軌跡をたどる、企画展を展開。9/6～12/31までで7.6万人来場。 ⑦ 10/25、11/23～24にて2025年大阪・関西万博のバビリオンの1つであるヨルダン館のイベントを実施。※17,000人の来場があった。 ※2026年3月にヨルダンの砂と石を使った枯山水を日本庭園中央休憩場に大阪府が設置することについて協力を行う。 ⑧ 12/20、公園内で初めて、世界的に有名なスバルタンレースを万博記念公園内で開催。 ⑨ 12/27、28、万博記念公園で初のacosta!(コスプレイベント)をラーメンEXPOと同時開催。 ⑩ 2/21、ミャクミャクお迎えセレモニー開催予定。 【自己評価】 今年度は、2025大阪・関西万博イヤーでもあり、広報活動を強化すると共に、積極的にイベント誘致を行った結果、2025年度の総来園者数は前年度比110%となる275万人程度になる見込である。 具体的な広報強化として、4月にXを開始し、12月現在、目標としていた13,000フォロワーを達成、フォロワー数は右肩上がりに現在も増加中である。 8月には、昨年に引き続き「サマーソニック」を開催し、国内外から多くの集客を実現し、主催者からも当公園における質の高いオペレーションが評価され、次年度も開催予定である。 バビリオンの企画展については、2025大阪・関西万博を意識したコンテンツ構成とした。具体的には、前半は2025年8月3日まで「プレイバック1970 大阪万博と昭和レトロ」、後半は2025大阪・関西万博のテーマ事業プロデューサーである河森氏の「河森正治 創作展」を開催することにより、新旧万博のコントラストを意識した構成とし、老若男女幅広い客層獲得に努めた。その結果、夏休み期間中は平日においても、1,000人を超える来場者の日が続き、有料来場者数(常設展)は例年70,000人程度であったが、本年度は190,000人を超え、過去最高の有料来場者数になることは確実である。 このように今年度も前年度に引き続き、来園者は増加傾向であり年間270万人超となる見込みだが、適正な人員を配置し、日々業務改善に取り組むも、昨今の物価高騰及び人件費高騰により、費用負担が増加し、今年度の収支は▲1億円程度となる見込みである。 上記の通り、社会情勢の変化による急激な物価上昇は、指定管理者の不可抗力によるものであるため、昨年に引き続き、入園料改定実現に向けて効果的なお力添えを希望する。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。	A	○広報活動の強化や新たな自主事業へ意欲的に取り組まれるなど、来園者数も過去最高を見込んでおり、公園の賑わいづくり・魅力向上に取り組まれたことは評価できる。引き続き適切な管理・運営に努められたい。
No.2	(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	【実績】 ①団体予約の適正な管理を行った。 ②行為許可申請書の平等利用に基づいた許可と適正な管理を行った。 ③公園施設使用許可申請書の平等利用に基づいた許可と適正な管理を行った。 ④使用料減額・免除申請書の平等利用に基づいた許可と適正な管理を行った。 ⑤Jリーグ開催時の喫煙所設置について、関係法令等に沿って適正な管理を行った。 1 共通項目 ・CS、マナー、ユニバーサル研修 (2月実施予定)・・・オンライン研修を2月に実施予定 ・CSR、個人情報研修 (第4四半期に実施予定) ・消防訓練、AED研修 (8月・2月実施)・・・エリア別(園内、運動施設)に年2回、及び大阪府合同で全体訓練を1回実施予定 2 施設のストレスフリー化の推進 ①社会福祉法人北摂杉の子会と提携し、環境の整備を共同で実施した。 ②テニス施設における障がい者のためのレッスン会を開講した。 ③案内サイン、トイレの改修について継続検討。 3 マナー向上の取組実施 違反喫煙頻発箇所については巡回警備、清掃を重点実施(継続実施事項)。 4 トラブルへの対応 インフォメール、ゲート目安箱、電話、直接のお申し出、SNS違反投稿などについて適切に対応した。 ●許可申請書・・・適切に管理した。管理簿を作成し適切に管理した。行為許可交付件数:447件(4月～12/16迄) 【自己評価】 CSR推進や個人情報保護についてはBMPの重要な課題の一つととらえ、研修についても可能限り多くの対象者の受講を促す(2026年2月予定)。 年度を通して重大なコンプライアンス違反は発生していない。 各種申請書式については、全国的な流れを受けて「はんこレス」を推進中。また代表者名や参加人数等の記載箇所において申請者にわかりにくい表現については適宜修正改良をすすめ、常に実態に沿った様式となるようアップデートを重ねている。これにより記入不備による確認を減らし、許可業務を効率化できている。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。	A	○事務の執行にあたっては、適切になされている。

No.3
(1)

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策		(※1) 文化・観光拠点形成・発信の取組みは適切に実施されたか。 ・インバウンドを増やすための効果的な投資 ・観光拠点形成に向けた集客性が高く継続性のある事業 ・文化・芸術活動を行う場としての利活用 ・多数の方が訪れる観光拠点とするための広報戦略	①教育旅行を中心とした団体向け体験プログラムコンテンツの商品造成等 ●周辺事業者と連携した体験コンテンツを中心としたグループ向け商品を造成 ●SDGsと健康をキーワードにした公園の魅力配信 ●レガシーツアーの継続実施によるEXPO’70レガシーの発信と2025万博のまなびの発信。 ②WEBサイトを活用した前売りチケットの販売拡大によるプロモーション効果拡大 ③周辺事業者・施設等との広報・事業連携 ④その他万博記念公園周辺エリア等との広報連携等 【実績】 1 教育旅行を中心とした団体向け体験プログラムコンテンツの商品造成等 (1)レガシーツアーをJTB・以外の旅行会社向けに大阪観光局の大阪参加体験プログラムでの販売 国際交流まちなかロゲイニング商品造成協力。 JTB向けに販売開始、大阪観光局の教育旅行体験サイトに掲載中。 (2)SDGsと健康をキーワードにした公園の魅力配信・実施無し 主に教育旅行団体向け資料として万博記念公園が取り組むSDGs資料について公園HPでも掲載中。 (3)レガシーツアー継続募集中、実施中 2 WEBサイトを活用した前売りチケットの販売拡大によるプロモーション効果拡大 (1)万博お得チケット(割引付き前売券)2023年5月22日より発売継続中 ①お得に万博記念公園エンジョイパス➡4月～12月累計2500枚 ②万博記念公園自然文化園と万博BEAST➡4月～12月累計701枚 (2)前売りチケット(電子チケット・コンビニチケット)2024年3月11日より販売 ③自然文化園・日本庭園共通前売りチケット(前売券)➡4月～12月累計69079枚 ④EXPO’70パビリオン前売りチケット(前売券)➡4月～12月累計4711枚 ⑤万博公園＆EXPOCITYエンタメセット(EXPOCITY・自然文化園セット券)(2025/9/1-販売)➡9～11月累計68枚(※11/25のOSAKAホイール落雷故障に伴い販売休止) 3 周辺事業者・施設等との広報・事業連携 ■EXPOCITY (1)公園イメージ動画のデジタル懸垂幕(継続)及び館内各所サイネージで四季のイベント告知 ①「SAKURA EXPO」(3/18提供～4/6)・「チューリップフェスタ」(3/26提供～4/9) ②「ボビー・ネモフィラフェスタ」(3/26提供～4/29) ③春のローズフェスタ(5/8提供～6/8予定)・あじさい祭(6/2提供-29) ④早朝観蓮会(6/24提供～7/6) ⑤ひまわりフェスタ(7/16提供～8/3) ⑥万博夏まつり(7/16提供～9/15) ⑦コスモス・コキアフェスタ(10/1提供～11/3) ⑧秋のローズフェスタ(10/1提供～11/24) ⑨紅葉まつり(10/31提供～11/30) ⑩イルミナイト万博&ラーメンEXPO(11/19提供～12/30) ■大阪モノレール (1)大阪空港駅・万博記念公園駅 ①大型サイネージ(グランビジョン)「55周年イメージ」(通常期)「日本庭園中央休憩所リニューアル」(通常期)「イルミナイト万博&ラーメンEXPO」(12月) ②各駅サイネージでの公園四季のイベント告知 ③万博記念公園駅構内プロモーションスペース(ポスター等掲示展示、サイネージ放映) ・サイネージは年間イメージ動画(継続)+上記イベント告知 ・イメージポスター太陽の塔掲出中(’23.4/9～、’24.4/8～) ④イメージポスター(55周年ポスター) ⑤各駅プロモーション展開 ・蛍池駅(阪急・モノレール間通路)大型電照広告 55周年イメージ ・千里中央駅(エスカレーター下)大型ポスター 55周年イメージ ・主要10駅B0ポスター 55周年イメージ ・モノレールEXPO2025ラッピング車両ドア横B3広告 ・EXPO ‘70パビリオン新イメージ(’24.5/27～’25.9月) 4 その他万博記念公園周辺エリア等との広報連携等 ①万博記念公園周辺エリア等との広報連携等 ②インバウンド向け媒体掲載:「FunJAPAN web」太陽の塔取材記事掲載中、アジア圏ターゲット(インドネシア語・タイ語・繁体字中国語(台湾)・繁体字中国語(香港)・ベトナム語・英語・日本語)(2020年1月～継続掲載、’24.1～内容最新情報に更新し掲載期間1年単位更新掲載再延長申請有) ③吹田市役所とのプロモーション連携→吹田市役所1Fロビー大スクリーンにて「好きです！万博！麒麟:田村編」上映中(継続) 【自己評価】 本年度は大阪万博開催後55周年のキービジュアルを制作の上、交通広告を中心にSNSでの積極的な配信、入場チケットの図柄に活用するなどの広報も実施し、広く55周年をアピールした。2025大阪・関西万博に関しては、公式HPでの相互リンクをはじめ、太陽の塔、EXPO’70パビリオンを中心とした、取材対応、広報配信を積極的に展開し、国内外から多数来場頂き、広く1970年万博と公園の存在を発信する事が出来た。終了後も、大阪府Back to EXPO’70のスタンプ事業や、ヨルダン館との連携による自主事業を実施して集客イベントを実施した。 指定管理イベントでは、夜間活性化事業として万博夏まつりを3年連続で実施。お祭り広場での万博夜市での盆踊り、縁日等のイベントを展開しインバウンド客を含め多数来園頂いた。北摂の恒例のイベントとしてイルミナイト万博と連携し、集客イベントとして実施継続予定。紅葉まつりでも日本庭園の中央休憩所のリニューアルをきっかけに、賑わいイベントを実施した。前売りWEBチケットに関しては、海外向けの販売を積極的に展開した。またSNSを活用した、海外向け広告も積極的に配信を実施した。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○万博記念公園エリアの各施設及び交通機関との連携によるWEBセットチケットを販売するなど、来園者サービスの向上やキャッシュレス化を推進しながら集客活動を行ったことは評価できる。 ○InstagramやX等のSNSを活用した広報戦略を行い、フォロワー数を増やす努力を行った。SNS発信と併せて、公園の主要な情報源であるホームページの更なる充実を図り、公園の更なる魅力発信に努められたい。 ○2025大阪・関西万博に関しては、公式HPでの相互リンクをはじめ、太陽の塔、EXPO’70パビリオンを中心とした、取材対応、広報配信を積極的に展開し、広く1970年万博と公園の存在を発信した。	A	○周辺施設等との連携・調整を行いながら、引き続き来園者サービスの向上に努められたい。 ○SNSを活用した広報活動に積極的に取り組まれた。ホームページとの連携も行いながら、引き続き、公園の魅力発信に努められたい。 ○2025大阪・関西万博に関連した広報を積極的に行い、1970年万博と公園の存在を広く発信されたことは評価できる。引き続き、来園者誘致の取組に期待する。

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
	(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策 (4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策 (5)安全・安心・快適な利用の確保	(※1) 文化・観光拠点形成・発信の取組みは適切に実施されたか。 ・インバウンドを増やすための効果的な投資 ・観光拠点形成に向けた集客性が高く継続性のある事業 ・文化・芸術活動を行う場としての活用 ・多数の方が訪れる観光拠点とするための広報戦略	【実績】 1 HPの適正運用 改装・リニューアル等 無し。新着情報等は随時更新。 2 WEB・SNS等を中心としたデジタルプロモーションの積極的实施 4月・YouTube：配信1回(限定公開リンク設置「万博記念公園へGOGO(55)！」メイキング動画) ・Instagram、Facebook (SAKURA EXPO、チューリップフェスタ、ポピー・ネモフィラフェスタ、藤まつり、55、太陽の塔ポスターグッズ、パビリオン企画展、ブルーインパルス、開花情報、イベント告知等) ・LINEでの各種情報配信：1回 (SAKURA EXPO) ・X(指定管理イベント、お花情報、各種イベント情報、施設情報等) (ほか詳細下記5参照) ・LINEでの各種情報配信：1回 (SAKURA EXPO) ・X(指定管理イベント、お花情報、各種イベント情報、施設情報等) 5月・YouTube：配信1回(万博記念公園の遊具であそぼう！ vol.1 万博BEAST・ボウケンノモリ編) ・Instagram、Facebook(ローズフェスタ、花まんま、太陽の塔重要文化財、日本庭園ブログ、パビリオン企画展、開花情報、イベント告知等) ・LINEでの各種情報配信：0回 ・X(ローズエキスポ、藤まつり、ジモトメシ、パビリオン企画展、太陽の塔情報など) 6月・Instagram、Facebook(ローズフェスタ、あじさい祭、早朝観蓮会、盆栽展、開花情報、イベント告知等) ・LINEでの各種情報配信：0回 ・X：10回投稿(あじさい祭、花菖蒲、パビリオン企画展、太陽の塔、EXPO’ 70当時の素材等) 7月・YouTube：配信1回(ひまわりフェスタ) ・Instagram、Facebook(早朝観蓮会、ひまわりフェスタ、万博夏まつり、ブルーインパルス、パビリオン企画展、開花情報、イベント告知等) ・LINEでの各種情報配信：3回(早朝観蓮会、ブルーインパルス、万博夏まつり) ・X：13回投稿(ブルーインパルス、早朝観蓮会、ひまわりフェスタ、パビリオン企画展、太陽の塔等) 8月・YouTube：配信1回(万博夏まつり) ・Instagram、Facebook(万博夏まつり、太陽の塔重要文化財指定、サマソニ注意喚起、タローマン、開花情報、イベント告知等) ・LINEでの各種情報配信：2回(万博夏まつり) ・X：14回投稿(タローマン、万博夏まつり、コキア、1970大阪万博、太陽の塔等) 9月・YouTube：配信0回 ・Instagram、Facebook(万博夏まつり、1970大阪万博開幕55周年記念、ドリカムポスター、河森正治 創作展、タローマン動画、万博BEAST、開花情報、イベント告知等) ・LINEでの各種情報配信：0回 ・X：11回投稿(タローマン動画、万博夏まつり、コキア、ドリカムポスター、1970大阪万博開幕55周年記念、河森正治 創作展、太陽の塔等) 10月・YouTube：配信0回 ・Instagram、Facebook(Back to EXPO’ 70スタンプ設置、いのち球設置、ミyakミyakマンホール、ヨルダンイベント、コスモス・コキアフェスタ、クイズラリー、開花情報、イベント告知等) ・LINEでの各種情報配信：1回(コスモスコキアフェスタ告知) ・X：22回投稿(Back to EXPO’ 70スタンプ設置、いのち球設置、ミyakミyakマンホール、ヨルダンイベント、無許可有料撮影会の注意喚起、コスモス・コキアフェスタ、太陽の塔、イベント告知等) 11月・YouTube：配信0回 ・Instagram、Facebook(紅葉まつりイベント、クイズラリー、ヨルダンイベント、イルミナイト万博、日本庭園周遊パークタクシー、いのち球イベント、鉄道まつり、紅葉情報、イベント告知等) ・LINEでの各種情報配信：0回 ・X：16回投稿(紅葉まつり、紅葉スポット、太陽の塔重要文化財グラフィック撮影、吉たこ期間限定メニュー、ヨルダンイベント、イルミナイト万博、太陽の塔、イベント告知等) 12月・YouTube：配信2回(ラーメンEXPO) ・Instagram、Facebook：(太陽の塔 重要文化財指定 記念グラフィック、イルミナイト万博、ラーメンEXPO、パークタクシーイベント、いのち球移設&記念イベント、万博記念公園写真コンテスト、イベント告知等) ・LINEでの各種情報配信：1回(イルミナイト&ラーメンEXPO) ・X：投稿13回(太陽の塔 重要文化財指定 記念グラフィック、イルミナイト万博、ラーメンEXPO、いのち球移設&記念イベント、レガシー企画、万博記念公園写真コンテスト、イベント告知等)				

No.3
(2)

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
			3 各電鉄会社の駅掲示板などを活用した情報発信など広報展開(交通広告等含む) ■大阪モノレール ①大阪モノレール万博記念公園駅券売機上の電照看板設置中(’20.10/30～) ②大阪モノレール万博記念公園駅構内改札上の電照看板設置中(’20.11/13～) ③大阪モノレール連携:各駅サイネージ放映・ポスター掲示(指定管理イベントを中心に実施) ④大阪モノレール連携:万博記念公園駅構内でのプロモーションスペースとサイネージ(大型サイネージ:グランビジョン含む)放映。 ⑤大阪モノレール中吊り広告(B3ワイドポスター)(大型指定管理イベントを中心に掲出) ■北大阪急行 ①北大阪急行中吊り広告(B3ワイドポスター)(大型指定管理イベントを中心に掲出) ■近接するエリアの公共交通事業者との連携(阪急電鉄・京阪電鉄・その他) ①阪急電鉄・京阪電鉄との連携 ・主要駅での大型指定管理イベントポスター掲示(阪急・京阪) ・主要駅BAMPAKU NEWS設置(阪急) ・阪急沿線情報誌「TOKK5月号」～2025年 大阪・関西万博まで1年! 1970年大阪万博を知る～特集掲載(70年万博・公園・太陽の塔・EXPO’70パビリオンなどの紹介公園特集掲載) →web版継続掲載中。その他TOKK取材による公園情報等掲載。 4 メディア及び関係期間への情報発信調整 (1)メディア関連 ①報道提供(プレスリリース)17回、取材ほか媒体対応:テレビ累計78件、ラジオ累計6件、新聞累計41件、雑誌・冊子累計13件、WEB媒体累計54件、その他累計29件。 ②ラジオ告知※FM千里:40回 (2)大阪観光局への指定管理イベントの情報提供 ①大阪観光局HP OSAKA INFOへの掲載。四季イベントの内容掲載 累計20件 5 各種情報発信について (1)公園だより「BAMPAKU News」の発行 4月～12月累計 印刷405,000部+シティライフ折込2,430,000部＝計2,835,000部+シティライフweb掲載 (2)イベントポスターの制作・設置(大型指定管理イベント) (3)各種情報発信 12月末までの累計 ①・HP更新、SNSの効果的運用 HP更新: 933回(お知らせ、施設情報等)、 ・X:86回投稿、Instagram 143回投稿(お知らせ、施設情報、イベント情報等)、 ・Instagramストーリーズ:132回投稿、 ・公式Facebook:138稿(お知らせ、施設情報、イベント情報等)、Youtube:6回投稿、LINE配信:8回 ②・中央口・庭園前ゲートデジタルサイネージ更新 18回、大型ビジョン更新 13回、インフォメーションサイネージ更新22回 ③園内開花情報の発信: 56回(WEB12月末現在) ④公園広報専用ラックの活用:毎月BAMPAKU NEWS配架、55周年イメージ ポスター・大規模指定管理イベントポスター展開 ⑤PR関連貸付対応(11月現在):写真269件、映像27件、有償アーカイブ貸付59件 ⑥園内マップ、パンフレットの作成:(2/27自然文化園・日本庭園新マップ製作100,000部)、7/30自然文化園・日本庭園新園内マップ100,000部増刷、11/27自然文化園・日本庭園新園内マップ100,000部増刷、ほか'25/3/31よりデジタルマップ稼働中 ⑦SNSフォロワー数(4月→12月末日) Instagram:39,543→53,636(+14,093)、Facebook:28,415→30,678(+2,263)、Youtube:1,560→1,800(+240)、LINE:20,181→25,377(+5,196)、X:0→13,727(+13,727) 【自己評価】 SNS(Instagram、Facebook、Youtube、LINE、X)ホームページへの掲載(更新)も量的な露出とともに、公園ならではの四季の花々の投稿を中心にイベント情報等の頻度やタイミングを考慮した配信を実施した。又、Instagramの海外広告配信も実施。今年4月からXの運用を開始して、タイムリーな情報配信を展開し12月末で13,000人を超えるフォロワーとなり、コンテンツ内容、世代に応じてSNSを使い分けながら、広報展開を実施した。Instagramに関しては、1年間で約16,000人のフォロワー数を増やす事が出来た。 媒体掲載等メディア露出においてはプレスリリースおよび従来からの国内媒体を中心に取材対応・画像貸出等による露出を維持。 その他広報活動としては、大阪モノレール(大阪空港駅クロスラッグ等)、EXPOCITYのサイネージ及びポスター枠をフルに活用し万博エリア内来訪者へのPRを積極的に実施した。又阪急電鉄、京阪電鉄との関係構築により主要駅への広報物展開を実施、主要イベントのポスター・チラシの掲出を実施する事で近隣エリア以外へのPR施策として新たな顧客創出に向けた展開を実施。電子チケット販売を更に拡大し、コンビニや公式HP、体験コンテンツ販売WEBサイトでの新規発売など販路拡大と今後のスマート化に向けての一定の成果を得る事が出来た。	A	(前ページにまとめて記載)	A	(前ページにまとめて記載)

No.4
(1)

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
No.4 (1)	(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策	(※2) 自然文化園・日本庭園の利活用、博覧会の遺産(レガシー)の利活用及び自然環境を活かした取組みは適切に実施されたか。	運営実績 【実績】 ■太陽の塔 (1)予約セット券の販売 今年度も引き続き、通年でサービス提供している (2)スマホケースレンタルサービスの提供 引き続き、太陽の塔内で撮影いただけるようスマホケースレンタルサービスを実施した。44,373件(売上:22,186,500円)※4月～12月分まで記入 (3)太陽の塔内部公開の夜間延長 ①SAKURA EXPOに伴う夜間延長を実施した(3/28～4/8 19時迄延長) ②万博夏まつり開催日(7/25～27, 8/1～3, 8～12, 22～24, 29～31, 9/5～7, 13～15)に19時迄開館延長を実施した ③イルミナイト万博に伴う夜間延長を実施した(11/23,24,28～30,12/5～7,12～14,19～21,27～30 19時迄延長) ■EXPO'70パビリオン (1).企画展の実施 ①2025/3/22～8/3までプレイバック1970～大阪万博と昭和レトロ～を実施した。 4/1～8/3実績:企画展入場者数:38,936人 売上:26,036,000円 ②2025/9/6～2026/3/1まで河森正治創作展～万博・合体・変形・未来～を実施予定。 9/6～12/30実績:企画展入場者数:38,026人 売上:31,404,000円 ※9月～12月記入済 (2).ペーパークラフトワークショップ実施 企画展とセットコンテンツとして期間中に実施予定だったが、河森展イベントやBack to EXPO'70スタンプサービス等の実施に振替予定(要協議) (3).EXPO'70パビリオンオリジナルグッズ販売 記念誌、クリアファイル、メダリーフ、メダルタイパー、プリクラを引き続き販売それぞれ好評を博している。 各種販売実績(4月～12月) 記念誌:5, 552冊 5,552,000円 クリアファイル(桜)848枚 419,760円 クリアファイル(会場MAP)385枚 2,263,800円 メダリーフ:15,985枚 3,197,000円 メダルタイパー:6,021.4枚 3,010,700円 プリクラ:2967.5枚 1,780,500円 スマホレンタルケース:1,089件 544,500円 太陽の塔からの引換券回収数:11,200件 ■日本庭園 日本庭園の魅力を最大限引き出すコンテンツ創造 ①中央休憩所のリニューアル完了。より水景を堪能できるよう、開放的な設えとし、日本庭園の魅力増進に寄与。 ②日本庭園 和みは店内・メニューもリニューアルし、より入店、利用し易いよう来園者の利便性を向上 ③「SAKURA EXPO 2025」の期間中において、汎庵・万里庵の特別公開(4/5,6)・汎庵「呈茶」(4/5,6) ④指定管理イベント「紅葉まつり」の期間(11/1～11/30)にて自主事業にて関連イベントの実施。 ・日本庭園茶室「汎庵・万里庵」特別公開及び呈茶(11/1～11/30) ・移動式茶室「囲」による特別な日本茶体験(11/8～9) ・盆栽美写(11/22～23)借景DJイベント(11/23) ・『吹田と食トーキイベント』(11/16) ・摂南大学 縁日イベント(11/15) ・内鴨のおでん屋台(11/1・8・15・22・29) ・大道芸スペシャルパフォーマンス(11/1～3) ・日本庭園周遊パークタクシーツアー(期間中の土日祝)期間中乗車人数:1,132名	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○太陽の塔内部公開の夜間延長について、大規模なイベント開催にあわせて実施した。 ○EXPO'70パビリオンでは2025大阪・関西万博に関連した内容の企画展を実施するなど、企画展の充実を図り、来館者数の増加に取り組んだ。 ○日本庭園のコンテンツ創造について適切に実施された。	A	○イベント開催に合わせて、太陽の塔内部公開の夜間延長を実施されるなど、来園者満足度を高められていることは評価できる。万博公園のレガシーを活用した更なる魅力発信に期待する。 ○EXPO'70パビリオンでは、2025年大阪・関西万博のアフターコンテンツを機会に引き続き1970年万博のレガシーを高める取組に期待する。 ○大型イベントを含めて新規イベントの誘致等に努められたことは一定の評価ができる。一方で、自然観察学習館のイベントとの調整や芝生の維持管理、さらに演出を含む花火の打上げについては管理マニュアルやガイドラインを遵守のうえ、適切に実施されたい。
	(4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策	・太陽の塔、EXPO'70パビリオン、日本庭園(茶室を含む)、自然文化園の森(自然観察学習館を含む)の利活用及び維持管理 ・自然文化園及び日本庭園において実施したイベントや自主事業による投資					
	(5)安全・安心・快適な利用の確保						

No.4
(2)

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策	(4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策	(※2) 自然文化園・日本庭園の利活用、博覧会の遺産(レガシー)の利活用及び自然環境を活かした取組みは適切に実施されたか。	■自然観察学習館(moricara) 通年実施でワークショップを展開する。 園内ツアーについても、昆虫観察ツアー等を中心に、楽しく「万博の森」やSDGsを学べるコンテンツを実施する。 ①4月5月6月7月8月9月10月自然観察会、工作教室等を実施した。 ②5月親子で楽しむお茶摘み体験を実施した。6月梅シロップづくり、梅の実販売を実施した。7月、8月セミのぬけがら鑑定士イベントを実施した。 ③9月藍の葉っぱ染めを実施した。10月コキアのほうき作りを実施しました。11月はmoricaraUpcycle Day!、どんぐりおえかき、グリーンスワッグ作り、クリスマスリース作りを実施。 ④12月まつぼっくりツリー、干支かざり作り、ミニ門松作りを実施した。 ■森の足湯 2024年9月までは、今後の方針を決定するために足湯は休止した。 足湯の代替え企画として、自然観察学習館にて園内で排出された廃材の有効利用(例:木材チップの園路への敷設など)をSDGsに紐づけた形で永続展示を開始した。土日など繁忙期にはナビゲーターを配置し、PRを行なっている。 ■自然文化園 西エリアの活性化 ①10/3～11/30まで自然文化園内西側の自然観察学習館を中心としたクイズラリーを実施した。 ②各テナントとも協力をして西エリアの施設を新たに知っていただけるきっかけ作りに努めた。 【自己評価】 EXPO'70/パビリオンでは2025大阪・関西万博の影響のため大盛況の1年となった。尚、企画展の入館者数は12月迄で76,962人で、オリジナル記念品は例年に比較して爆発的な好評を博している。 太陽の塔では、万博期間中は予約無で入館することが難しい日も多く需要に供給が追いつかない状況であった。また、塔内で撮影いただけるスマホケースレンタルが例年に比較して爆発的な好評を博している。また、春の桜まつり、夏の夏まつり、冬のイルミネイト期間中に夜間延長を実施し、多くのお客様を迎えることができた。 自然観察学習館では学校団体への教育支援事業や自然観察会等の公園ならではのサービスを提供できた。 次年度は太陽の塔、EXPO'70/パビリオンでは2025万博ロスの受け皿となり、アフター万博コンテンツ(ミyakumiyaku再会等)の機会に1970年万博レガシーを一層高めていきたい。また、自然観察学習館では2030年のSDGsGOALを目標として、万博記念公園におけるSDGs拠点施設に発展できるよう様々な取り組みにトライしたい。	A	○自然観察学習館のイベントについては、自然観察会や工作教室等概ね適切に実施できている。 ○森の足湯の休止後の代替措置や、西エリアの活性化については適切に対応できていた。 ●夏休み期間中の週末等野外コンサート開催時に学習館が休館になり、また学習館で企画していたナイトツアーが中止になった。学習館での自然観察関連のイベントは自然文化園の重要なコンテンツの一つなので、他のイベントとの調整を十分に行い、学習館の活動に支障の出ないように留意されたい。	A	(前ページにまとめて記載)
	(5)安全・安心・快適な利用の確保						

No.4
(3)

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策	(4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策	(※2) 自然文化園・日本庭園の利活用、博覧会の遺産(レガシー)の利活用及び自然環境を活かした取組みは適切に実施されたか。	【実績】 ■イベント計画 1 指定管理業務イベントについて ①SAKURA EXPO(東大路を中心とした園内各所、3/20～4/6) ②山野草展(春)(日本庭園園芸植物展示場、4/6～13) ③チューリップフェスタ(チューリップの花園、3/29～4/9) ④ポピー・ネモフィラフェスタ(花の丘、3/29～4/29) ⑤藤まつり(平和のバラ園藤棚、4/19～27) ⑥日本庭園盆栽展(日本庭園園芸植物展示場、6/27～29) ⑦ローズフェスタ(春期)(平和のバラ園、5/10～6/8) ⑧あじさい祭(あじさいの森、6/7～29) ⑨早朝観蓮会(日本庭園はす池、6/27,28,29,7/4,5,6) ⑩ひまわりフェスタ(チーリップの花園、7/19～8/3) ⑪インターナショナルキャンプ(上の広場、7/29・30) ⑫万博夏まつり～イルミナイト万博×万博夜市withピアガーデン(指定管理:太陽の塔周辺、東の広場西側園路、自主事業:お祭り広場、7/25～9/15) ⑬コスモス・コキアフェスタ(花の丘、10/4～11/3) ⑭秋の山野草展(日本庭園園芸植物展示場、10/26～11/3) ⑮ローズフェスタ(秋期)(平和のバラ園、10/25～11/24) ⑯紅葉まつり(自然文化園・日本庭園、11/1～11/30) ⑰万博記念公園に咲く花の写真コンテスト(応募期間10/21～11/23) ⑱イルミナイト万博～2025 WINTER～(自然文化園 太陽の塔周辺、11/23・24、11/28～12/21日までの週末金土日と12/27～12/30の計18日間) 2 自主事業イベント ①桜まつりフードコート 3月20日(木祝)～4月6日(日) ②初夏のフードトラック&大道芸パフォーマンス 5月10日(土)～5月11日(日) ③関西ローズEXPO 5月24日(土)～5月25日(日) ④ポケモンGO FEST 2025 5月29日(木)～6月1日(日) ⑤OSAKA GIGANTIC FESTIVAL(通称:ジャイガ) 7月19日(土)～20日(日) ⑥万博夏まつり ※7/26実施のマンゲキ夏祭り2025含む 7月25日(金)～9月15日(月祝) ⑦SUMMER SONIC 2025 8月16日(土)～8月17日(日) ⑧timelesz SUPER FAMeeting 9月23日(火・祝) ⑨秋の自主事業 10月26日(日)～11月16日(日) 3 主な持ち込みイベント ①SAKURA EXPO(3/20～4/6) ②NTTパビリオンEXPO 2025(3/29～4/13) ③太陽グループ入社式(4/1) ④ABCチャレンジカップ(4/6) ⑤Vintage Market(4/11～12) ⑥・ワクワクいきものワールド(4/12) ⑦タカラレンタックス(4/16) ⑧タカラッシュ(4/18) ⑨ヨドバシカメラ撮影会(4/19) ⑩カレーEXPO(4/19～20) ⑪Vintage Expo(4/19～20) ⑫大阪Classic Car EXPO2025(4/20) ⑬JSSC定期走航会(4/20) ⑭Osaka Flower Carpet 2025(4/26～4/28) ⑮ジモトメン！(4/25～5/6) ⑯ロハスフェスタ 2025春(4/25～5/5) ⑰世界平和と文化交流の祈念 こいのぼり掲揚(5/5) ⑱さゆり幼稚園 遠足(5/9) ⑲クリオインターナショナルスクール 遠足(5/10) ⑳タカラッシュ リアル宝探し(5/10) ㉑よつばほいくえん 遠足(5/10) ㉒ワクワクいきものワールド(5/10～11) ㉓ごぶごぶフェス(5/10～11) ㉔きんでん 末広祭(5/11) ㉕バスまつり 搬入テスト(5/14) ㉖高槻市立第九中学校 遠足(5/16) ㉗FM802 MEET THE WORLD BEAT 2025(5/17) ㉘OUTDOOR PARK(5/17～18) ㉙JSSC定期走航会(5/18) ㉚WFPウォーキング(5/18) ㉛タカラッシュ リアル宝探し(5/19) ㉜まこと幼稚園 遠足(5/22) ㉝ウルフルズ ヤッサ！2025(5/24) ㉞関西スーパーS&B ウォークラリー(5/25) ㉟摂津第一中学校 遠足(6/5) ㊱京都銀行従業員組合(6/7) ㊲ガレージセール(6/8) ㊳淀川くらわんか(6/8) ㊴ガレージセール(6/15) ㊵トライアスロン大会(6/22) ㊶ガレージセール(6/29) ㊷JSSC(6/15延期分)(6/29) ㊸大阪公立大学 都市魅力関係講座(7/5) ㊹Survive FES(7/26,27) ㊺大阪・関西万博開催記念『ドリカムと夏祭り2025』'ここからだ!' IN 万博記念公園(8/2,3) ㊻Red Bull サンパチ(8/23) ㊼2025 ABCチャレンジカップ in 万博(8/31) ㊽能登半島地震復興ツーリズムに向けたコンテンツ造成事業(9/12～9/28) ㊾すいたフェスタ(9/20)・吹田クロス万博(9/21) ㊿JSSC定期走航会(9/21)・平和の鐘清掃活動(9/21) [51]MOTOR CAMP EXPO2025(9/27,28) [52]万博東の広場ガレージセール(9/28) [53]株式会社辰巳商会 [54]辰友会 第42回 秋季大運動会(9/28) [55]TAKUTO FESTVAL 2025(10/4) [56]器と暮らし市 in 万博記念公園 vol.3(10/4,5) [57]ガレージセール(10/5) [58]外国運輸金融健康保険組合第44回関西地区運動会(10/5) [59]楽しむ能「楽」プロジェクト! 万博と能楽 特別公演(10/10,11) [60]ワクワクいきものワールド(10/11,12,13) [61]WESSION FESTIVAL 2025(10/12,13) [62]OSAKA MUSIC & COLTURE WEEKEND(10/18) [63]ダイヘングループ ハートフェスティバル2025(10/18) [64]第33回オービックグループファミリー運動会(10/18) [65]Chillin' Vibes 2025(10/18) [66]ソロフェス(10/19) [67]JSSC(10/19) [68]大阪万博記念公園「平和の鐘」第9回鐘打式典(10/24) [69]Vintage Market一万博蚤の市(10/24,25,26) [70]OSAKA MUSIC & COLTURE WEEKEND(10/25) [71]OTODAMA EXPO ～千里丘編～(10/25) [72]FM802 FUNKY MARKET 2025(10/26) [73]ロハスフェスタ万博 2025秋(10/31～11/3,8) [74]紅葉まつり大道芸パフォーマンス(11/1～3) [75]ABCラジオまつり(11/9) [76]チーズEXPO(11/14～16) [77]おは朝パーク(11/15,16) [78]ラーメンEXPO(11/22～24,28～30,12/5～7,12～14,19～21,27～30) [79]万博夜空がアートになる日(11/22) [80]シュクラン！ヨルダン(11/23,24) [81]万博鉄道まつり2025(11/29,30) [82]ガレージセール(12/14) [83]スバルタンレース(12/20 [84]吹田市カメの子駅伝(12/28) ■2026年1月～3月までの予定 [85]ガレージセール(1/11,18,25) [86]吹田市民駅伝(1/12) [87]デュアスロン(1/18) [88]大阪RUNRUNRUN(1/24) [89]茨木市民マラソン(1/25) [90]大阪学院高校マラソン(1/27) [91]ガレージセール(2/1,8,15) [92]EXPOリレーマラソン(2/8) [93]大阪ジュニア駅伝(2/14) [94]大阪府市町村対抗駅伝(2/15) [95]JAF(2/21) [96]吹田市カメの子マラソン(2/22) [97]AFフェスト(2/23) [98]ガレージセール(3/1,15) [99]テレビ大阪EXPO(3/7,8) [100]大阪メトロ運動会(3/15) [101]SAKANA JAPAN FESTIVAL(3/19～22) [102]SAKURAEXPOフードコート(3/26～4/5) [103]全国大陶器市(3/27～4/5) ■その他 ・行為許可書、実施計画書及び運営マニュアル等を元に各主催者との協議・打合せを行い、その後BMP内各セクションと 連携会議を実施。 ・隔週金曜日の実務者会議にて情報共有。BMP管轄の園内外警備計画、各ゲート運営計画、清掃計画等を随時策定。 (当日の現場立会いも踏まえ、安全且つ円滑な運営を行っている) ・各広場の収容人数を定めた。東の広場30,000人、お祭り広場10,000人、もみじ川芝生広場25,000人。 【自己評価】 2025年度はSUMMERSONICをはじめ、WESSION FESTIVAL、ごぶごぶフェス、MEAT THE WORLD BEATなど多数の野外コンサートを実施。野外コンサートだけにとどまらず、ポケモンGOフェスト、スバルタンレース、ジモトメン、REDBULLサンパチイベントなど大小かかわらず多種多様なイベントを多数誘致することに成功。また、2025大阪・関西万博の恩恵もあり、Survive FES・ドリカムと夏祭り2025、シュクラン！ヨルダンなど大阪・関西万博にまつわるイベントも行われ公園のにぎわいづくりに大いに貢献した。 一方、野外コンサート実施時にステージ設営の影響で広場の芝生が枯死したり、演出花火の打ち上げ時には予定時間の超過や花火大会時に園内の一部で無断占有があった。引き続き、管理マニュアルやガイドライン遵守の徹底及び申請不備のないようにする。	A	○指定管理業務イベントのうち、植栽関連のイベントは適切に実施されていた。特にあじさい祭りについては、府発注工事との調整を行いながら従来通り行うことができていた。 ○過去に実施した集客力のあるイベントを引続き実施し、新規自主事業では大規模コンサートのジャイガや閑散期にはスバルタンレースを実施するなど、にぎわいの創出に努められた。また、シュクラン！ヨルダンなど、2025大阪関西万博にまつわるイベントも実施し、来園機会の拡大にも努めた。 ●野外コンサート実施において、ステージ設営等のため、芝生広場の一部で芝生が枯死し、一時腐敗臭を発生させる等広場の機能が著しく低下している。野外コンサート実施にあたっては、管理マニュアルを遵守し、芝生の養生に努められたい。 ●演出を含む花火の打上げにあたっては、ガイドラインを遵守し、予め定めた打上げ時間を超過しないようにされたい。 ●各種申請について不備のないようにすること。	A	(前ページにまとめて記載)
	(5)安全・安心・快適な利用の確保	・太陽の塔、EXPO'70パビリオン、日本庭園(茶室を含む)、自然文化園の森(自然観察学習館を含む)の利活用及び維持管理 ・自然文化園及び日本庭園において実施したイベントや自主事業による投資					

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
No.5	(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策 (4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策 (5)安全・安心・快適な利用の確保	(※3) 運動施設の利活用等の取組みは適切に実施されたか	【実績】 1 万博記念競技場の運営 【施設の利活用(利用促進)のための取組み】 <万博クロスカントリー大会の実施> ⇒前年度より開催なし <記念競技場内 トレーニング場> ⇒競技場内トレーニング場の利活用の調整中 <小運動場の料金改定> ⇒予約開始・利用開始 <フットサルコートの料金改定> ⇒公園事務所と協議中 <西駐車場の料金改定> ⇒公園事務所と協議中 2 運動施設の運営及び維持管理 ⇒維持管理について適切に実施した。 3 運動施設の利用促進・自主事業の実施 ⇒南地区 平日利用促進のため野球スクールを実施した。 ⇒西地区 ・テニススクール ・フットサルスクール ・テニス・フットサルイベント 適切に実施した。 【自己評価】 WEB予約の効果で新規利用者の獲得や予約や空き施設の活用が増えてきたことが実感できている。運動施設での園路使用許可について調整・実施し利用者より好評のお声をいただいた。引き続き施設の利活用・各種団体のファン獲得について柔軟に尽力していきたい。 府と協議のうえ、利用者との調整を行い競技場の水曜日開場を行い利用者利便性向上を促進した。また、利用者大会利用の早朝・夜間延長などの柔軟な対応や整備メンテナンスを行い、顧客満足度の向上を行った。 各種団体との連携に努め、2026年度開催の第20回アジア競技大会(愛知・名古屋)の練習会場受け入れ調整や新設されるU21Jリーグの誘致にガンバ大阪と連携し取り組んでいる。南地区にて野球スクールを実施した。 西地区の年会員コート数について、年間会員と一般利用者双方にとって満足度が高く、利用実態に合致するコート数の案分を改めて検討するため、試行的に年間会員コートと一般利用コートの割振りを検討し見直しを行った。年間会員コート数 11面(平日:人工芝3面、アンツーカ8面、土日祝:人工芝4面、アンツーカ7面)⇒ 6面(人工芝2面、アンツーカ4面)なお年間会員の利用が多い、平日午前はサービスコートとして最大11面を開放する事で対応。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○運動施設の予約システムの活用や西地区テニス年間会員との定例会を開催するなど、運動施設の利用促進・サービス向上に取り組んだ。	A	○運動施設について、適切な管理運営に取り組まれている。更なる魅力向上や利用者増加を図るため、引き続き、各種マニュアルやガイドラインを適宜見直され、事業の充実に取り組まれない。
		園内移動手段の確保は適切に実施されたか	【実績】 1 森のトレインの継続運行 ・4・5・6・10・11月の水曜を除く毎日(水曜が祝日の場合は運行)及び、9・3月の土曜日・日曜日・祝日(休園日除く) ・運行前日 降雨確率70% 以上の場合は運休 →稼働日数(累計):146日(4月～12月) →利用人数(累計):26,657人(4月～12月) 2 パークタクシー運営開始に向けた各種調整 ・自然文化園内の運行に加え、紅葉祭りの際、日本庭園内をガイド付きにてパークタクシーの走行を実施した。(期間中の土日祝) →稼働日数(累計):59日(4月～12月) →利用人数(累計):3,331人(4月～12月) 3 団体・フリー(トレイン・タクシー乗車)人数 →利用人数(累計):816人(4月～12月) 【自己評価】 公園内モビリティへの需要は高く、引き続き通常の運行に加え、パークタクシーの運用と合わせてお客様の利便性向上に向け取り組みを続けたい。花の丘にて季節の花が見頃の時に運行、中央ゲートからのパークタクシーの運行については非常に好評であり、来園者から多くの声があった。 紅葉祭りでは、昨年実施したパークタクシーを利用した「日本庭園巡り」が好評であったことを受けて、本年度は期間中の土日祝(12日間)にて運航を行った。利用した方からも普段日本庭園には良く来るがガイドツアーに参加して新たな発見があったというお声もあった。 今後も季節の花の見頃の時期やイベントごとに応じて運行する事で来園者の利便性向上に繋げたい。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○森のトレイン及びパークタクシーについて、適切に運営している。また、日本庭園の魅力を発するガイド付パークタクシーの運行期間を昨年度より拡大するなど、利便性・魅力向上に取り組んだ。	A	○日本庭園におけるガイド付きパークタクシーの運行拡大の取組は評価できる。広大な万博公園において、来園者の移動手段の充実は必要であり、利用者のニーズを把握し更なる利便性の向上への取組に期待する。

No.7

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策 (4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策 (5)安全・安心・快適な利用の確保		(※4)快適性・サービス向上に関する取組みは適切に実施されたか	■売店等の運営状況 【実績】 1 日本庭園の施設魅力化 ⇒ ・中央休憩所のリニューアル完了。より水景を堪能できるよう、開放的な設えとし、日本庭園の魅力増進に寄与。 ・日本庭園 和みは店内・メニューもリニューアルし、より入店、利用し易いよう来園者の利便性を向上 ・和みにおいて10月から新メニューを追加。 ・和みにおいて2月実施予定の梅まつりにて期間限定メニューを追加予定。 2 売店の利活用 ⇒万博BEASTと万博記念公園自然文化園とのお得チケット販売継続中 SAKURA EXPO2025に伴う夜間営業を下記の売店・施設で実施。 インフォメーションセンター、エキスポグッズストア、neu café、ジェラフル、太陽の塔SHOP、b-base、シアトルズベストコーヒー、おもしろ自転車広場、立体迷路、パンパクタカラバコ、トライトレイン 夏祭り期間中に下記の売店で営業時間延長を実施。 ノイカフェ、ジェラフル、ナゲツナゲツ、万博記念公園駅前売店、太陽の塔SHOP、b-base(7/26～7/27)、おもしろ自転車広場、立体迷路、パンパクタカラバコ、サイクルポート、トライトレイン イルミナイト万博期間中に下記の売店で営業時間延長を実施。 ノイカフェ、ジェラフル、万博記念公園駅前売店、太陽の塔SHOP 3 その他 売店等 ⇒R7.3月から7月まで休業中売店の代替として駅前広場にキッチンカー(モバイルコンテナ)を出店 ⇒水車茶屋で出店を計画中 【自己評価】 アフターコロナの反転攻勢期として取り組んだものの、水光熱水費や人件費をはじめとする諸物価高騰により売店の経営は引き続き厳しい状況であった。しかしながら、1年を通じてはサービスを落とすことなく運営を何とか続けられた。また、新規出店する売店もあり、賑わい作りを行う事が出来た。継続して出店希望があれば適切に対応する。 【実績】 1 万博エリア連絡会への参加 ⇒4/15(火)、吹田スタジアムにてエリア連絡会開催。上期の主要イベント情報を共有。 2 公園および駐車場の円滑な運営に向けた主な注力点 園内イベントなど、予測される混雑日に、運営および警備スタッフを増強。 安全とサービスの維持・向上に努めた。 (1)駐車場 ①春の繁忙期と秋の繁忙期、ガンバ大阪試合日等に伴う交通対策について ・増員と、各駐車場利用状況に応じた配置転換や延長対応を実施。 ・臨時駐車スペースや臨時口の活用(汎用レジ購入・配備)。 ・路線バスの経路確保。 ・事前精算促進、精算補助、場内外の警備誘導など、出庫支援の実施。 ・釣銭の随時補充 など。 ②吹田スタジアムでの催行に際して ・ガンバ大阪(吹田スタジアム会場主催者を含む)に対し三者協定に基づく対策の徹底を求め連携を行った。 ③駐車場関連の課題と対策、苦情対応について ・利用者等から寄せられる苦情や要望に対して、都度関係者で共有のうえ、再発防止や改善に努めた(月次でヒヤリハットリストを作成など)。 ④アリーナ開発に伴う駐車場環境整備について ・大阪府と協議を実施(継続中)。 (2)警備 ・増員と、状況に応じた配置転換や延長対応を実施。 ・中央広場・中央橋・中央口ほか、状況に応じた混雑対策を実施(早朝からの規制設置や、コーン等の設置による導線設計、交通量に応じた経路幅の調整等)。 ・夜間延長時の取り組み(閉園エリアからのゲストクリア、視界の良くない、限られた公園口や経路における広報アナウンス等)。 ・屋外スピーカーの活用(自転車走行の禁止等、広報アナウンス)。 ・放置自転車への対応(注意や警告の札付け、吹田市との連携(指定区域の放置自転車撤去)など)。 ・研修の実施(業務状況の定期チェック、接遇に関する指導、報連相の徹底等) など (3)清掃、廃棄物処理 ・増員と、状況に応じた延長対応を実施。 ・繁忙期の公園のアーリーオープン(本来の清掃業務時間が圧縮される)への協力。 ・イベント主催者のゴミ収集・集積方法のチェック、指導等。 ・日常巡視への対応。 ・トイレ工事や多客日予想によるフェスティバルスタンド下トイレの活用 など 【自己評価】 前年度に引き続き、SUMMER SONIC 2025をはじめとするコンサート企画や、花火企画の増加があり、長期化したイルミナイトなど公園の夜間延長対応などにより、7月8月の閑散期が繁忙期化し、賑わいの創出を図る一年となった。 安心・安全・快適なサービスの提供に注力したことはもちろん、新たな取り組みから学び(大人数を受け入れる際の新たなオペレーション手法や、案内アナウンスの伝え方など)も得られたと考えており、今後の対応に活かしていく。総じて、十分に貢献できたと考える。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、概ね実施できているが、管理品質等に一部課題がある。 ○駐車場運営や警備について、人員配置を適切に行い、多客日の警備や駐車場混雑対応など、円滑な運営を実施した。 ○日本庭園の施設魅力化については、適切に実施できている。 ●売店運営について、昨年度に引き続き未だリニューアル計画が進んでいないものが見受けられる。駅前広場にキッチンカーを出店されるなど一定の対応を講じているところは評価できるが、速やかに園内売店等の運営状況を分析・検証すること。店舗での運営が困難であれば代替措置を検討するなど、現状を踏まえて、改善や更なる魅力化に向けた今後の運営計画を示されたい。その上で、当該計画に沿って遅滞なく取り組まれたい。	B	○日本庭園中央休憩所のリニューアルが完了したことは評価できる。その一方で、リニューアル未了の売店について、今後の計画・展望が示されておらず、利用者サービスが低下している。状況を速やかに改善すべく、現在の運営状況を分析・検証し、店舗運営が難しければ代替措置を講じるなど今後の運営計画を作成のうえ、当該計画に沿って遅滞なく実施されたい。

No.8

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
	(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策 (4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策 (5)安全・安心・快適な利用の確保	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。	【実績】 1 苦情等受付簿・集計表 適切に実施 ・事件、事故 等 累計:77件 4月～9月累計 ・苦情、要望 等 累計:29件 4月～9月累計 ・受付、問合せ等 累計:1,617件 4月～9月累計 ・利用指導 累計:1件 ◎対応件数 総合計2,082件 2 インフォメール→zendesk ・システム不調のため6/25以降は新システム(zendesk)にて適切に対応 (特に苦情への即時対応や対応の履歴管理が容易となった) ・苦情・ご意見 累計: 69件 6/25～12月累計 ・その他問合せ 累計:260件 6/25～12月累計 3 コールセンター 適切に対応 ・苦情・ご意見 累計:68件 ・その他問合せ 累計:18,602件 4 インフォメーションセンター ・苦情・ご意見 累計:1件 ・その他問合せ 累計:4,888件 5 ゲート投書箱(2021年6月より設置) ・各種ご要望 4月～12月累計:76件 ・苦情 4月～12月累計:93件 ・お褒め 4月～12月累計:57件 【自己評価】 各施設スタッフ及び巡回警備にて、トラブルやご意見に対応し対応結果については各種様式に記載し本部に共有することを徹底し継続している。 また、コールセンターへの電話、インフォメール(2025/6/25よりZENDESKへ移行)へのメールでのお問い合わせご要望についても関係者間共有の上、適切な部門にて対応をするよう情報の共有化と蓄積を進めている。さらに各ゲートに無記名式の投書箱を設置し、潜在的なご要望を届けていただけるよう取り組んでいる。 加えて、園内関係施設(国立民族学博物館、大阪日本民芸館)とも連携を密にし、相互に寄せられた各種お申し出を共有し、相互解決の助けとしている。 SNSの広がりによって、太陽の塔の知財権に抵触したり、事前申請を経ない無断行為等の投稿が見受けられた場合にも、即座に管理者に連絡を取り修正・削除を進めている。 全般として、早期の問題解決が図れており、ケースクローズに至らない懸案案件は存在していない。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○苦情等への対応は適切に実施できている。また、利用者からのご意見・ご要望等に耳を傾け、運営管理に反映できるよう努めている。	A	○苦情等への対応は、適切に実施されている。利用者からの意見や要望には、業務改善に繋がる提言も含まれているものであり、これらの意見等の集約や業務への反映を通じて、利用者満足度の向上に努められたい。

No.9

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
		草地管理、芝生地管理、樹木管理、草花管理、花木等管理等について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	【実績】 1 草地管理実績 適正場所に応じて年2回～4回、草刈作業を4月～12月に行う。1～3月も必要に応じて除草作業を行う予定。 実施計画書に基づき適切に管理。 来園者の通行の妨げにならないように維持管理水準書に基づき除草を行った。 2 芝生管理実績 実施計画書に基づき適切に管理。 芝刈り、肩掛式除草、人力集芝、芝生縁切、イベント後の不陸修正などを行った。 3 花壇管理実績 (1)バラ園花壇管理 (リニューアルしたバラ園を生まれ変わった花の名所とする) ・除草、薬剤散布、液肥、壁泉清掃、凋花切りを行った。 ・除草、薬剤散布、施肥、つるバラ剪定、誘引、凋花切り、スタンダードバラ結束を行った。 ・除草、薬剤散布、壁泉清掃、夏期剪定、つるバラ誘引、凋花切り、フジ剪定、灌水を行った。 ・除草、芝刈、薬剤散布、茎葉処理剤散布、施肥(液肥含む)、壁泉清掃、夏期剪定、つるバラ誘引、結束替え、灌水を行った。 (2)チューリップの花園 (チューリップフェスタでの魅力アップ) ・チューリップフェスタに向けて、除草、液肥散布を実施した。あわせて余剰球を利用してフォトスポットを作成した。チューリップと同時期に楽しめる春の花、ムスカリ、菜の花、ネモフィラ、モモイロタンポポを植栽し新たな見どころを創出。あわせて、花園内には花壇ボランティアで作るボランティアガーデンとコミュニティガーデナー講座4期生のデザイン・植え付けによるコミュニティガーデンを設置した。 (3)ひまわりフェスタに向けて施肥、耕起、植え付け、薬剤散布、オルトラン散布、除草を行った。 ・チューリップフェスタに向けて、花園内の除草、ラウンドアップ散布、耕起、施肥、播種を行った。 (4)花の丘 (SNSで発信してもらえるような写真映えるフォトジェニックな場所に) ・春のポピー・ネモフィラフェスタに向けて、除草、殺菌剤散布、畝間の機械除草、ポピーのピンチを行った。また、フォトスポットとしてネモフィラのハンギングバスケットとチューリップの寄せ植えでフラワーリングを装飾した。 ・コキア植え付けのための耕起、除草、畝立て、植え付け、灌水を行った。 ・コスモス・コキアフェスタに向けて灌水、除草、畝間機械除草、コスモス植え付けの為の耕起・畝立て、コスモス植え付け、追肥、また散水栓が使用できないためタンク車での灌水を行った。 ・スモス・コキアフェスタ開催に伴い、液肥散布、殺虫殺菌剤散布、コスモスのピンチ、またフォトスポットの作成・設置を行った。 (5)その他花壇 ①夏の花八景では除草、機械除草、夢の池では植え替え、冬季花壇では除草、万葉の里で機械除草を行った。 また、各花壇では、除草、撤去を実施した。周辺の雑木・雑草処理を実施した。 ②夏の花八景では殺虫殺菌剤散布、播種、機械除草、万葉の里で除草、夢の池花壇へのヒマワリ植え付け、除草、冬季花壇の除草、ピンチを行った。 ③夢の池で灌水、夏の花八景で除草、ピンチ、ヒマワリの撤去、万葉の里で機械除草、冬季花壇で除草を行った。各花壇では、撤去、施肥・耕起、植え付け、灌水、除草、ピンチを行った。また場周道のウバメガシ手入れを行った。 ④夏の花八景で除草、未開除草、植え付け、殺虫殺菌剤の散布、夢の池で除草、ケイトウの植え付け、万葉の里で機械除草、冬季花壇で殺虫殺菌剤の散布、場周道の中央分離帯の草刈りを行った。また、各花壇では灌水、除草、ピンチ、撤去、殺虫殺菌剤の散布、植替えのための施肥耕起、植え付けを行った。 6 花木管理実績 ①あじさいの森・・・除草、支障枝撤去、剪定を行った。 ②梅林・・・除草、移植、剪定を行った。梅の実の収穫、除草、園路の竹交換を実施した。 ③つばきの森・・・除草、剪定、摘果、施肥を行った。剪定、除草、刈り込み、施肥、ウチワゼニクサの駆除を行った。 ④茶畑・・・芝刈り、除草、施肥を実施した。 ⑤桜・・・枝抜剪定(枯れ枝整理)を実施した。 ⑥ワタ等施行実施予定項目について・・・除草、耕うんを行った。畝たて、播種を行った。 7 園内の巡視を実施し病害虫の早期発見、初期対応をスポット散布 ①マツ、キヅタなどに殺虫剤(マツグリーン)、キンモクセイ、ハナカイドウに殺虫剤(トレボン)を散布した。ツバキ類に殺菌剤(トップジン)を散布した。 ②モチノキ類、フジ、シラン等に液肥(ハイポネックス)を散布した。アライグマ対策で学習館周辺、水車茶屋周辺に忌避剤(ニゲール)を散布した。 ③巡回、通常巡視を全域で行った。 ④セアカゴケグモの巡回、駆除を行った。巡回、通常巡視を全域で行った。 8 植物セミナー・ワークショップ ①藤まつりでは、藤のガイドツアーのほか、藤棚をめぐるクイズラリー、藤を描くパステルアートや季節のワークショップなどを実施した。 ②ローズフェスタでは、花苗・バラ苗の販売会を実施した。 ③コスモス・コキアフェスタではハーブの植え付けワークショップなど季節の講習会を花の丘にて行った。 9 シーズンにあわせた植栽管理イベント 過去のコミュニティガーデナー講座修了生を対象に、バラの凋花切りボランティア講習会を実施した。 10 生物多様性向上 ①農薬の使用は巡回をして害虫、病気の確認をして最小限の範囲で散布した。 ②万博エコ堆肥を積極的に取り入れている。 ③園内動植物について、外来種などは専門機関と連携し適切に駆除した。(アライグマ、ミシシッピーアカミミガメ等) ④昆虫や植物の育成のため、草刈の範囲や時期の調整を自然観察学習館と協議して行った。 ⑤ザリガニの駆除作業は適切な時期に捕獲し処分している。水生生物の適切な飼育管理に努める。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○夏の猛暑の中、タンク車による灌水を積極的に実施するなど適切な管理を実施することで良好な開花を促した。日々の巡回や大阪府との共同巡回で発見した危険木の処理を適切に実施した。 ●除草管理については、今年の異常な暑さのために草本の成長パターンが通常と異なっていたのか、ベンチが草本に囲まれて使用できなくなっていたり、歩道の幅が狭くなるなど、利用に支障が出た施設も見受けられた。利用者目線に立ち、施設を気持ちよく使えるよう、除草作業をこまめに行われたい。	A	○危険木への対応など、重大な事故を未然に防止できるよう引き続き、府と連携しながら維持管理されたい。 ○積極的な灌水を行うことで良好な開花を促されたが、猛暑による草本の異常成長による影響が生じていたので、気候に合わせた除草管理を行うことで景観の保持や快適な施設の運用に努められたい。

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
			【自己評価】 草地について、実施計画に沿って4月から各エリア1～4回ずつ除草作業を行い、苦情、要望個所には迅速に対応し良好な環境を保った。 芝生地管理について実施計画に沿った刈込みをエリア毎、使用頻度に応じて年2回～最大35回行い、施肥、集草、人力除草を行った。また適切な薬剤や除草剤の散布により雑草やメリケントキンソウの抑制を行った。今後は、エリア毎に使用頻度・内容に応じた管理を強化していく。 花の見所、各花壇の草花管理について、実施計画に沿って植付・植替、その他関連作業を適切に行い、人気種の植え付けエリアの増設などを取り入れ新たな花の見どころやにぎわいを創出、美しい花の常にある良好な景観を保てた。 病害虫防除について実施計画に基づき適切に管理を行い、スズメバチ、セアカゴケグモ駆除の対応も迅速に取り組んだ。 樹木管理では園内、無料地区にて実施計画数量を超える作業を行い、苦情、要望にも適切に対応した。 樹勢回復では、低木の台落とし、ケヤキの丘を中心に枯枝の剪定、桜では、枯枝剪定、癌腫の除去を行い、切口には切口保護剤を塗布するなどの処置を適切に行った。 花木等管理について実施計画に沿って適切に管理を行った。 花木林については、支障木、枯れ枝除去も丁寧に行い、花木林全体で良い景観となるよう取り組んだ。また、日々の巡回に加え、大阪府との月1回の合同巡回を実施し、危険木、枯枝等の早期発見に努め迅速に伐採処理などで対応した。 今後も引き続き大阪府と協議を行いながら、対応を重ねていく。				

No.10

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
	(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策	点検・補修・修繕を適切に行ったか(法定点検、日常点検、修繕の実施について確認)	【実績】 1 点検 (1)法定点検(以下の項目を実施した。) ①受変電設備定期点検(自然文化園・東地区、中央、西地区)、一括変電所 ②昇降機定期点検(太陽の塔・EXPO'70パビリオン) ③空気環境測定(迎賓館) ④フロン簡易点検(空調設備) ⑤消防設備点検(各防火対象物) ⑥特定建築物の建築設備点検、消防設備点検(EXPO'70パビリオン、太陽の塔、記念競技場他) (2)○定期点検(以下の項目を実施した。) ①高圧絶縁監視装置定期点検 ②低圧分電盤絶縁抵抗測定 ③夜間照明設備等定期点検(記念競技場・テニスコート) ④陸上競技用電子機器等定期点検(記念競技場) ⑤自動ドア保守点検(太陽の塔・EXPO'70パビリオン) ⑥遊具点検、ソラード定期点検※精密点検を含む 精密点検(わくわく池、ぼうけん海 3月実施、やったねの木 3月実施予定、ソラード、無料地区 3月実施予定) ⑦駐車場監視装置、駐車場情報提供システム、デジタルサイネージ、監視カメラ、入場券システムほか園内システム ⑧園内照明灯他定期点検 (3)○日常点検(以下の項目を実施した。) ①受変電設備日常点検(低圧分電盤、太陽光発電合設備他) ②園内設備日常点検(照明設備、機械設備、空調設備、遊具類他) 2 修繕 (1)修繕 計145件の修繕を実施(12月末時点) 代表的なものは下記のとおり。 ①日本庭園⇒汎庵害獣対策、侵入口閉塞 ②建築物補修⇒各所ドア、ドアクローザー、シャッター、鍵、ノブ修繕、パビリオン階段崩れ補修、パビリオン排煙窓交換、ファミリーマート自動ドア修繕 ③園路補修⇒各所縁石、窪み、人止め柵、フェンス修繕、石畳ブロック補修、外周グレーチング敷設、各所ベンチ補修 ④漏水補修⇒各所手洗い漏水、南地区スポーツ広場、もみじ川芝生広場上水・スプリンクラー漏水、各所トイレ便器・洗面漏水、パビリオン建屋内漏水補修、排煙窓ダンパー交換 ⑤機械⇒各所シャッター不具合、運動施設整備車修繕、各所ゲートUPS交換、各所エアコン交換、もみじ川電磁弁修繕 ⑥運動施設周辺各種補修 ・東地区 競技場外壁修繕、ピストル修繕、ハードル修繕、競技場給湯室異臭対策、3塁ベースやりかえ ・南地区 ホームラン識別マット交換、スプリンクラーヘッド交換 ・西地区 テニスコート・フットサルコート人工芝補修、ベンチの支柱破損補修、時計修繕 ・ハードレイキ整備等の運動施設整備機械のメンテナンス ⑦井戸設備、ポンプ設備関係 ・Cホップ場ストレーナ塗装、井戸ポンプ交換、大地の池ホップ場吸い込み配管不具合 ⑧遊具補修 ・わくわく池のぼうけん広場⇒かえるのたまごの滑り台割れ補修、どぼんスライダーネット補修 ・ぼうけん海のひろば⇒ロープブリッジ修繕、床板補修 ・ソラード⇒床板、手すり木材修繕 ⑨園内サイン・看板類補修 3 補修・修繕 ①修繕計画に基づき各種修繕工事を行い機能保全する。 ②実施工程表に基づき適切な周期で点検を実施。 【自己評価】 材料費、人件費高騰の状況下、管理水準の一定の水準を保つべく公園の維持管理については府と協議のうえ、最大限実施した。 法定点検、定期点検、日常点検は実施計画に基づき確実に実施し、園内施設、設備類を正常な状態に保ち、来園者が安心・安全に利用できるよう適正な管理を行った。また、点検や巡視報告、各施設からの報告で明らかになった不具合等については、可能なものは小修理にて対応、専門業者による対応が必要で緊急性、重要性の高い項目は、業者に委託して補修・修繕を行い、早期の復旧に努めた。限られた修繕費の中で、緊急性、重要性の観点から各案件毎の精査を慎重に行った。特に漏水、雨漏れ、浸水、崩れと空調機器に関して重点的に修繕を実施しし、利用者、職員の安全と労働環境の維持に留意した。 不具合情報は、速報メール、不具合報告書等によりBMP内で共有し、来園者への対応に遺漏が生じないよう留意した。また、速報メール、不具合報告書等は、必要に応じ大阪府とも共有、指示を仰いで適切に対応した。 施設、設備(遊具類を含む)の不具合は「不具合管理台帳」に記載し、対応の経過を確認できるようにし、対応の漏れ、遅れを防止するようにした。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○点検については、適切に実施されていた。 補修・修繕については、募集要項等で定められている額を上回る執行がなされており、発生した不具合事象については、各案件事に大阪府へほぼ適切に情報共有がなされていた。 ○遊具等については精密点検による結果をもとに修繕計画を作成し、不具合個所を計画的に解消するなど適切に取り組んだ。	A	○点検・補修・修繕については、適切に実施されており、維持管理に取り組まれている。引続き、来園者が安全・安心に利用できるよう、大阪府と協議の上、環境整備に努められたい。
	(4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策						
(5)安全・安心・快適な利用の確保							

		評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
No.11			園内清掃について、 良好な管理を行ったか。 (頻度および技術について確認。)	【実績】 1 園内清掃 実施計画に基づき、園内・運動施設地区・駐車場・トイレ等、各所の清掃を実施した。 2 便所清掃 実施計画に基づき、園内・運動施設地区・駐車場・トイレ等、各所の清掃を実施した。 3 不法投棄：累計0件(2025年12月末現在) ※駐輪場以外のエリアにおける放置自転車は見られないものの、駐輪場に長期に停めてある自転車は以前より多数見られ(事実上の不法投棄とも考えられる)、これらの廃棄コストが課題となっている(対象の自転車に警告札を貼り付け一定期間の経過観察を経て移動、廃棄を行っている)。 【自己評価】 前年度に引き続き、井水を使用する新旧トイレへの清掃強化(井水の成分により着色があるため)をはじめ、本来不必要な設備的な課題へもフォローを行っている。また、夜間開園を行うケースの増加に伴い、翌朝の開園に向けての準備を含め、長時間勤務も増加しており、体調面への配慮はもちろん、業務環境や待遇面の向上は継続的な課題。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○イベント実施事業者への指導や突発的事象への対応等、適切な園内清掃等に取り組んだ。	A	○適切な園内清掃に取り組まれた。引き続き、快適な利用の確保に努められたい。
			園内施設について、 良好な運営・維持管理を行ったか。	【実績】 ①広場、スポーツ施設をはじめとする園内各施設の使用申込手続き対応を迅速に実施した。 ②園内各所の利用者対応と運営管理を実施計画書に基づき実施した。 ③イベントおよび開催時の各種運営管理を実施した。特にコロナ対応、受動喫煙防止について徹底した。 ④実施計画書に基づき基本的な広報活動の実施・管理を実施した。 ⑤園内掲示板、案内、サイン等の運営管理を行った。 ⑥食堂・売店・自販機の利用促進と運営管理を行った。 ⑦園内交通手段の運営管理を行った。 ⑧駐車場・駐輪場の運営管理を行った。 ⑨喫煙スペースの管理を行った。 ⑩園内各種物品、文書・資料の管理を適切に実施した。 ⑪太陽の塔クレジット決済を実装した。 ⑫園内の点検・補修・修繕に関する管理を行った。 ⑬危機管理マニュアルの改訂と運用を適切に実施した。 ⑭議会、自治体、学校、ボランティア団体等との協力・連携を行った。 ⑮公衆無料Wi-Fiの維持管理・利活用(日本庭園8か所の無料Wi-Fi設置、日本庭園八景等における動画等の多言語発信について検討中) ⑯野外展示物の日常点検・目視点検を実施した。 ⑰ノルディックウォーキングコースの日常管理と表示板改修と追加設置、更新手続きを行った(継続認証中) ⑱大阪府貸与物品について適切に管理した。 【自己評価】 良好な運営・維持管理のための報告書様式や報告経路の整備などにつき、大阪府の指導も仰ぎながら、継続的に改善を行った(はんこレスを導入)。利用者の安心、安全を最優先としつつ、快適な公園利用を通した満足度の向上に結び付くよう、臨機応変な対応を行った。 各種対応の遅れが発生しないように常に情報の共有を行い迅速に対応できるようにした。 また、R8.2にパークゴルフ万博公園において、委託会社が無断で芝生管理作業の一環で芝生の一部を限定的に芝焼きをしたところ、予期せぬ強風により火の粉が燃え広がり、消防による鎮火が行われた。指定管理者として、急ぎ現地状況確認後に速報を作成、大阪府に報告するとともに、翌日からの営業中止をHPに掲載し、利用者の方々への配慮をした。以降、利用者の方々から、早急な再開を求める声が散見されたため、委託会社責任者に寄り添い、今後の安全計画作成、関係法令順守説明、定期的な消防訓練への参加提言、消防署への安全確認説明等、全面的にサポートし、早期運営再開に尽力した。今後は、関係法令を遵守のうえ適正に運営・維持管理を引き続き行う。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、概ね実施できているが、管理品質等に一部課題がある。 ●園内施設について関係法令を遵守のうえ適切に行うこと。	B	○関係法令を遵守のうえ適切に園内施設の運営・維持管理を行うこと。
			(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策 (4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策 (5)安全・安心・快適な利用の確保					
No.13			利用者の安全確保 対策の具体的方策。 (日常巡視や瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	【実績】 1 日常巡視(運営、警備、清掃、設備、緑地など各巡視業務を含む) 平日昼間 2名1組 4班体制 午前・午後の2回 夜間 2名1組 1班体制で、夜間・早朝の2回実施。 実施計画に基づき、適切に実施した。 2 瑕疵発見・対応 ①不法投棄・破損行為の早期発見・早期処理を行う(放置自転車など)・・・放置自転車：0件(2025年12月末現在) ②園内(喫煙場所以外)に向けた注意喚起の実施・・・適切に実施した。 ③発見された設備等の不具合への対応・・・速やかに対応措置を講じるとともに専門業者による修繕を手配し、必要な補修、修繕を実施。 ④各種水道メータの検針(漏水の早期発見)・・・適切に実施。 ⑤非常事態発生時の関係団体への連絡・・・適切に実施。 ⑥迷子への対応：109件(2025年12月末現在) ・救急事案への対応：77件(2025年12月末現在) ・拾得物対応：2,414件(2025年12月末現在) ⑦夜間巡視の実施・・・適切に実施。 3 夜間防犯対策 ・夜間巡視を中心とした警戒継続 ・各社：警戒強化中のパウチサイン掲出 ・コカ・コーラ、アサヒ：独自の防犯カメラを設置、稼働中 4 衛生管理 実施計画に基づき適切に実施した。 【自己評価】 救急/迷子/拾得物対応、多客日の雑踏対応、強風/雨天時のパトロール等々、昼夜を問わず、速やかな対応を行った。 新たな警備スタッフとの情報・ノウハウの共有、具体的業務の指導、研修など、サービスレベルの維持向上に努めた。 多様な状況に適切に対応できるよう、継続していく。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○発見された設備等の不具合については、速やかに対応を行い適切な補修・修繕を実施した。	A	○引き続き日常の巡視を行うことで、瑕疵等の早期発見・早期対応を実施し、来園者の安全・安心の確保に努められたい。

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
No.14	(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策 (4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策 (5)安全・安心・快適な利用の確保	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	【実績】 ○災害時訓練 消防訓練については各施設ごとに年1回実施(3月予定) 大阪府および指定管理者合同防災訓練(1月実施予定) 大阪府および指定管理者合同消防訓練(2月実施予定) ○異常気象時対応 ・危機管理マニュアルに基づき情報の整理を行う(11月の合同防災訓練にて実施) ・無線機の通信環境の確認と発着信テストの実施(1月の合同防災訓練にて実施予定) ■異常気象時対応 ・2025年12月現在において対応なし ■感染症への対応 継続して、各所アルコール消毒液の設置。 貸出のあった、車椅子やベビーカーについては除菌シートによる清掃を行っている。 【自己評価】 BMP本部及び大阪府公園事務所危機管理担当者間で、防災訓練前の打合せを数回行い情報の共有に務めた。 「災害発生時の公園における役割」をBMP本部内で認識するため、2025年12月～1月にかけ簡易マニュアルをメールにて周知させた。 訓練においては、スタッフが初動でやるべきことを明確にし、BMP本部内、大阪府公園事務所と連携をとって迅速正確に対応を行った。 実施計画書に基づいた水防体制にて、適切に水防体制配備および台風接近時に備えた。 また、緊急時、適切に対応できるよう各種マニュアル、体制の整備を行っていく。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○防災訓練においては、府と連携し、参集から初動対応の確認を適切に実施した。	A	○危機管理意識を常に高く持ち、引き続き、利用者の安全・安心・快適の確保に努められたい。
	(6)府施策との整合	応募時の提案を実施できたか。	■府・公益事業への協力等 ・自然文化園の森(万博の森)の育成環境形成への協力・・・年間通して緑地管理を適正に実施。 安全管理運営協議会を通じ危険木・支障木の対応状況を注視。 ・財産管理・事業者誘致への協力・・・年間を通じて事業者の選定・誘致・管理を実施。 ・施設の大規模改修等への協力・・・パビリオン新館オープン後の運営・管理を実施。 野球場スコアボード改修工事、園内トイレ美装化工事等における調整協力を行った。 ・大阪万博遺産の保全への協力・・・年間を通じて管理運営を適正に実施(太陽の塔・EXPO70/パビリオン・パビリオン別館ほか) ・2025大阪・関西万博PRツール・・・(ポスター・のぼり・ミニのぼり)を園内各所に掲出、設置した。 関連イベントを公園内実施時に協力調整を行った。 ・日本庭園文化財登録への協力・・・前年度より引続き「日本庭園文化財登録PRポスター」中央ゲート横、バラ園南ポスター掲示板にて掲出中 ■ボランティア対応 ・火・金曜日の週2回はNPO団体の指導の下、花壇の手入れ等ボランティア活動を実施。新規加入も随時募集している。 ・コミュニティガーデナー修了生(ボランティア)講座：2025年5月～2026年2月 5月潤花切り講座 6月潤花切り講座 ・コミュニティガーデナー修了生を対象に、バラの夏季剪定講習を実施、技術向上に努めた。 ■知的障がい者の就業 1、現従事者に追加 1名の雇用活動継続中 2、清掃以外での雇用予定 (2021年4月 運動施設のグラウンド整備業務で1名採用：以下記載) ・植栽管理業務 2名 (2020年4月1日採用) ・グラウンド整備業務 1名 (2021年4月採用) ※エルチャレンジにて雇用募集中。 ※コロナ以降も各社の経営状況が厳しく増員が難しい状況であるが、BMPの基幹業務の一つであることを説明し再度協力を依頼。人件費をBMPIにて負担するという前提で、再度構成各社・委託先を含め依頼中であるが、園芸業務について1名の追加募集ができないかを具体的に精査中。 エルチャレンジに対し、2026年4月からの雇用にて人材を探していただくよう依頼中(12/12)。 【自己評価】 各種イベントの仕掛けなどにより公園の来園者数が以前並みに回復して来たとは言うものの人件費、光熱水費、各種物価の高騰により通常の予測を超えた厳しい経営環境となっている。経費カットなど対応できる余力を超えた状態となっており、指定管理業務そのものの存続が懸念される状態。 障がい者雇用については通年で募集を検討しているものの、今年度については進捗できていない。また雇用を実現したものの種々の事情による退職もあり定着させることの難しさを実感している。特に受け入れ部門においても人材の継続雇用が厳しくなっている中、常にバックアップサポートが必要な障害雇用者を継続勤務させ続けることの現実的な厳しさがある。 当初の目標に対して現在1名の追加雇用が実現できていない状況を打破すべく、人件費をBMP本部で負担することも含め2026年4月に追加雇用をすべく検討中。	B	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、概ね実施できているが、管理品質等に一部課題がある。 ○府・公益事業への協力について設備工事の調整等協力をした。 ○ボランティア対応については適正に実施した。 ○前年度に引続き、日本庭園文化財登録をPRするポスターの掲出や、日本庭園の魅力を発信するガイド付きパークタクシーの運行に取り組まれるなど府施策への積極的な協力が認められた。 ●知的障がい者の雇用について昨年度から引き続き1名の雇用が不足している状態である。対象業務を広げるなど、引き続き、雇用の確保に努められたい。	B	○今後も引き続き、大阪府施工工事への協力を努められたい。 ○各団体との連携・調整を引き続き行いながら、今後も府施策への協力を努められたい。 ○府施策への理解を深め、知的障がい者の雇用確保に引き続き取り組まれたい。

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
Ⅱ　さらなるサービスの向上に関する事項							
No.16	(1)利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。これを受けて業務改善を行うか。	【実績】12月分まで記入 ・イベントアンケートの実施 チューリップフェスタ:4/19 ローズフェスタ:5/24、25、26 ひまわりフェスタ:7/26、27 コスモスフェスタ:10/18、19、20 ・【春】来園者調査アンケートの実施:5/17、18、24、25 ・【秋】来園者調査アンケートの実施:11/7、8、22 ・【春】外国人来園者数調査:6/7 ・【秋】外国人来園者数調査:11/30 【自己評価】 公園管理としての満足度を落とすことなく業務に従事。春は「観光地としての万博記念公園」＝2025大阪・関西万博も開幕し、若年層や新規層が広域から訪れている傾向、秋は「レジャー施設としての万博記念公園」＝各種イベントや紅葉等、定番コンテンツを楽しむために、近隣ファミリー層やリピーターが訪れている傾向が見られた。2025万博開幕中は、「太陽の塔」や「EXPO'70バビリオン」等中心に関心が高まったが、閉幕後は既存ファンの来園きっかけをいかにつかむか、アンケート結果を元に継続して、イベント内容の充実や創意工夫を図っていく。 年齢層別来園者調査/園内移動調査/EXPOCITY移動調査をピーコン、GPSを導入して計測。項目によりデイリーやマンスリー事での計測が可能になりマーケティング施策に活用。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○クロス集計を用いたアンケート結果分析や課題抽出のための質問項目追加などの取組は評価できる。引き続き利用者ニーズを捉え、対応をするべく調整を図られたい。 ○指定管理者独自のアンケートについても実施を期待する。	A	○アンケート結果について、クロス集計を活用した分析を行われるなどの取組は評価できる。今後どのように業務改善を行うかについて検討し、運営管理に反映させるとともに、更なる利用者満足度向上に努められたい。
No.17	(2)その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	イベントごとやワークショップなど　自主事業 【実績】 ●ローズフェスタ(5月) イベントに合わせて、関西ローズEXPO2025を開催。バラ雑貨の販売や飲食サービスの提供。フラダンスや創作ダンス、マーチングパレードなどを実施した。 ●早朝観蓮会(6月) イベントに合わせて、モーニングヨガやフラのステージ、モーニングFOODの販売を行った。 ●コスモス・コキアフェスタ(10月) 花の丘周辺に飲食が購入出来るテナントが存在しないため、来園者サービスの向上として、飲食出店を行い好評を得られた。 フェスタ期間中に撮影された写真を缶にラッピングするイベントを開催した。 写真撮影会や様々なワークショップを開催した。 ●2025大阪・関西万博関連の事業を開催。 10月11月、ヨルダンの文化に触れる体験。12月いのち球の設置。 1月以降も2025万博関連の内容を展開予定。 【自己評価】 アフターコロナの反転攻勢を期すべくコロナのみならずインフルに対しても基本的な感染防止対策を講じた上でセミナーやツアーガイド、期間中にキッチンカーの出店を行うなど来園された方に喜んで頂けるコンテンツを実施した。 全体を通して来園者に好評であり満足頂ける結果となり、継続して実施できるように創意工夫する。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○花との触れ合いや2025大阪・関西万博との関連事業を開催するなど、来園機会の拡大や公園の魅力創造を行うなど、適切に取り組んだ。	A	○新たな公園の魅力創出・向上への取組を今後も期待する。

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目							
No.18	(1)投資及び収支計画の内容、適格性及び実現の程度、経理関係	投資及び収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。	【収支実績】 単位：百万円※税抜き 予 算 収入1,877百万円 支出2,020百万円 収益▲143百万円 実 績(予測含) 収入2,000百万円 支出2,092百万円 収益▲92百万円 予算対比(予測含) 収入123百万円、支出▲72百万円、収益51百万円 【投資実行状況】 ・視覚障害者歩行支援アプリ 3,300,000円 ・危険木対応 10,150,000円 【自己評価】 上記の通り、今年度は大阪・関西万博の気運を確実に掴み、来場者も前年比＋200,000人となる見込であるが、収益は▲97百万円の着地見込である。 具体的には、収入増加に向けて持込イベントの積極的な誘致、夏祭りのコンテンツ充実、広報強化、魅力的なパビリオン企画展の実施による来園者数増加を試み、一定の成果をあげたが、冬の閑散期、猛暑日が続く夏の日中の集客は困難を極め、支出は予算内に収まるよう、電力会社の検討、人員配置見直し、消耗品の節約等を実施したが、人件費、物価高騰は想定以上に上り幅が大きく、現時点ではこれ以上の収益改善は厳しい状況であり、昨年同様に、各社の経営に大きな影響を与えている。 次年度以降の収支についても、昨今の人件費、物価高騰の影響から各種経費の削減は限界にきていること、2025大阪・関西万博終了後の来場者数減が見込まれることから、収支の悪化が予想される。 投資に関しては、視聴覚障害者支援システム「Eye Navi」を導入すると共に、昨今日本全国で問題になっている倒木対策として「危険木撤去作業」を行い、お客様の安心・安全を考慮した優先順位の高い、実用性の高い投資を実施することができた。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○計画に基づき投資の履行に取り組んだ。 ○今後も大規模な持込みイベント誘致や自主事業の実施、広報の強化など、公園の魅力向上や賑わいづくりを行い、来園者増ひいては入園料等収入増加に取り組まれない。	A	○引き続き公園の新たな魅力づくり・発信に期待する。
No.19	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	【実績】 ○配置人員 総括管理責任者 1名、副総括責任者 1名、運営管理業務責任者 1名 維持管理業務責任者 1名、警備主任 1名、公園電気主任技術者 1名 他 募集要項に準ずる 上記職員を適切に配置した。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○管理体制について適切に配置した。	A	○適切な管理体制のもと、引き続き、管理運営に努められたい。
No.20		必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	【実績】 ○有資格者の配置(兼務有) 防火管理者1名、エネルギー管理講習修了者1名、1級造園施工管理技術士1名、農業安全管理士1名、第3種電気主任技術者1名、2級陸上特殊無線技士1名 上記職員を適切に配置した。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○必要な技術者について適切に配置した。	A	○適切な必置技術者のもと、引き続き、管理運営に努められたい。

No.21

評価項目		評価内容	指定管理者の自己評価	評価 (S～C)	大阪府の評価	評価 (S～C)	評価委員会の指摘・提言
	(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	昨年度と同様に効果的な人員配置、計画的に経費削減に取り組むが、経費増加のため、来場者数は前年比110%を超える270万人と過去最高を達成見込みであるが、2025年12月時点では、年間収支▲97百万円が見込まれ、引続き本事業の損失により各社の本業に大きな影響を与え、楽観視はできない状況である。(昨年よりも40百～50百万円は収支改善見込) 係る状況下、安定的な運営を可能とするために、定期的に増収会議を開催し、広報強化、地域連携、魅力的なコンテンツの作成等の施策を検討するも、冬の閑散期(1月・2月)に▲1.5億円の収支となる現状を鑑み、必要経費見直しは限界にきているため、昨今の急激な物価高騰や人件費高騰の上昇を踏まえ、安定した運営管理の確保に向け、老朽化が進む券売機やゲート機器、防犯カメラ更新を一刻も早く実現したい。	A	【履行確認結果】 事業実施計画書に示した事項について、適切に実施できている。 ○今後も大規模な持込みイベント誘致や自主事業の実施など、公園の魅力向上や賑わいづくりを行い、来園者増ひいては入園料等収入増加に取り組まれ、構成企業の財政基盤及び収益力の強化に期待する。	A	○安定的な経営が可能と判断でき、引き続き、構成企業の財政的基盤強化に向けて取り組まれない。

※総合評価においては、選定時の配点を鑑み、※1については6倍、※2については4倍、※3及び※4については1. 5倍の重みづけを行う。

本公園における、項目毎の評価の目安は、以下のとおり。

- S(優良): 当該年度の事業実施計画書に示した事項を適切に実施。
かつ、応募時の提案以上を実施。
- A(良好): 当該年度の事業実施計画書に示した事項を適切に実施。
- B(ほぼ良好): 当該年度の事業実施計画書に示した事項を概ね実施できているが、管理品質等に一部課題がある。
- C(要改善): 当該年度の事業実施計画書に示した事項が適切に実施できておらず、管理品質等に重大な課題がある。
- ※事業実施計画書に示した事項には、協議により変更した事項を含む

年度毎の総合評価は、次の4段階とする。

- S(項目ごとの評価のうちSが5割以上で、B・Cがない)
- A(項目ごとの評価のうちBが2割未満で、Cがない)
- B(S・A・C以外)
- C(項目ごとの評価のうちCが2割以上。
又は、Cが2割未満であっても、文書による
是正指示を複数回行う等、特に認める場合)

令和7年度総合評価

A